

第62回高知県精神保健福祉大会 プログラム

- PM 1:00 開会あいさつ 高知県精神保健福祉協会会長 数井 裕光
来賓あいさつ 高知県知事 濱田 省司
高知市長 岡崎 誠也
高知県医師会長 野並 誠二
- PM 1:20 表彰式
- PM 1:30 休 憩
- PM 1:45 講 演
演題 「一寸先は光」～やなせたかしの生き方と作品世界より～
講師 公益財団法人やなせたかし記念
アンパンマンミュージアム振興財団事務局長(学芸員)
仙波 美由記
- PM 2:45 休 憩
- PM 3:00 講 演
演題 「アンパンマンの世界からみえる『こころ』について」
講師 高知県公立大学法人高知工科大学共通教育教室 教授
健康管理センター長
池 雅之
- PM 4:00 閉会あいさつ 高知県精神保健福祉協会副会長 橋詰 宏

やなせたかし
愛、勇気、希望を求める魂の旅

～みんなが安心して暮らせる社会をめざして～



同仁病院 テイクア

[主催・事務局] 高知県精神保健福祉協会
高知市丸ノ内1-2-20 高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課内
TEL:088(823)9669 E-mail:kochi-mhwa@mopera.net

[後 援]
高知県・高知県教育委員会・高知市・高知市教育委員会・香美市・香美市教育委員会・高知市長会・高知県町村会・(一社)高知県医師会・(社福)高知県社会福祉協議会・(公社)高知県理学療法士協会・(一社)高知県作業療法士会・高知臨床心理協会・高知県臨床心理士会・高知県精神保健福祉士協会・高知県医療ソーシャルワーカー協会・(一社)高知県社会福祉士会・高知県精神障害者家族会連合会・(公社)高知県看護協会・(一社)日本精神科看護協会 高知県支部・高知県精神科病院協会・高知県精神神経科診療所協会・(独)労働者健康安全機構高知産業保健総合支援センター・高知県民生委員児童委員協議会連合会・特定非営利活動法人高知いのちの電話協会・NHK高知放送局・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・高知ケーブルテレビ・エフエム高知

日時 令和 5年 11月15日水
午後1時～4時10分

場所 高知県立県民文化ホール(グリーンホール)

入場 無料
手話通訳
要約筆記
あり

第62回
高知県精神保健
福祉大会
大会要旨

やなせたかし 愛、勇気、希望を求める魂の旅 ～みんなが安心して暮らせる社会をめざして～

大会実行委員長 山下 元司

この度は、第62回高知県精神保健福祉大会に足をお運びくださり厚く御礼申し上げます。

高知県が輩出した著名人といえば、香美市・南国市をルーツに持つやなせたかし氏（以下「やなせ先生」と記載）が有名です。今回、大会テーマを「やなせたかし 愛、勇気、希望を求める魂の旅～みんなが安心して暮らせる社会をめざして～」とし、やなせ先生の生き方、子供たちに生きる希望を与えてくれるアンパンマンなど先生の作品を通して精神保健福祉について考える機会とさせていただきます。

本大会では2つの講演を行います。

最初に公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団事務局長の仙波美由記氏をお迎えし、「一寸先は光」～やなせたかしの生き方と作品世界より～という演題でご講演いただきます。仙波氏は2003年から今日までやなせ先生の作品の収集・保存・研究を行って来られました。やなせ先生の作品によって子供たちに夢や希望を与えるとともに、やなせ先生本人が自身の作品を通して成長してきたと仰っています。やなせ先生の作品や人生観などを通して、みんなが安心して暮らせる社会を実現するためのヒントが得られることと思います。

次に高知県公立大学法人高知工科大学共通教育教室教授・健康管理センター長の池雅之氏をお迎えし、「アンパンマンの世界からみえる『こころ』について」という演題でご講演いただきます。池氏は以前から私も存じ上げていますが、臨床心理士として医療機関での勤務や各種学校の講師などを務め、2015年から現職としてご活躍されるとともに、高知県臨床心理士会会長、日本ピア・サポート学会副会長、日本臨床心理士会代議員、高知県スクールカウンセラースーパーバイザーなども務められています。今回はその豊富な経験に基づいたお話をうかがえることと思います。

本大会は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し規制が緩和され最初の大会となります。参加されました皆様にとって有意義な時間となり、今後の生き方に少しでもお役に立てることを願っております。

第62回高知県精神保健福祉大会開催にあたって

高知県精神保健福祉協会 会長 數井 裕光

第62回精神保健福祉大会の開催にあたり、多くの皆様にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症蔓延後、昨年度から本大会の現地開催を再開しております。やはり講演を生で拝聴し、その後のディスカッションも顔を合わせてリアルに行くことで、参加者の学びと相互理解が深まると感じました。まだまだ新型コロナウイルス感染症が完全に収束したとは言えませんが、このような理由で今年度も現地開催といたしました。

さて今年度のテーマは、「『やなせたかし 愛、勇気、希望を求める魂の旅』～みんなが安心して暮らせる社会をめざして～」です。やなせたかしさんは、「アンパンマン」の作者として非常に有名ですが、本大会の演者である仙波美由記さんの講演要旨を拝見して、マルチクリエイターであり、かつ雑誌「詩とメルヘン」を30年間も編集されていたことを知りました。私事ですが、私が医師になって最初に入会した学会が「日本神経心理学会」で、この学会誌の編集長を今年度から務めることになりました。歴史ある学術誌なので、私の代で面白くなくなったと言われまいと重責を感じております。講演要旨の「自身の“生きる”意味を問い続け、生涯にわたり“現役”として前向きなメッセージを発信し続ける」ことが鍵だと感じ、私も学びたいと思いました。もう一人の演者である池雅之先生も、非常に有名で私も様々な場面で協同させていただいています。池先生は、自然に元気づけてくれるアンパンマンの世界と私たちの「こころ」を心理士の視点からわかりやすくご講演くださるとのことで、こちらもワクワクする内容です。

本大会は、高知県の偉人から学び、高知県の精神保健福祉をさらに推進させる素晴らしい機会になると思います。そして当日、皆様と楽しくディスカッションできることも嬉しく思っています。



講演
タイトル

「一寸先は光」 ～やなせたかしの生き方と作品世界より～

やなせたかし（1919～2013）は香美市香北町出身の漫画家であり、絵本作家・詩人・イラストレーター・雑誌編集等、幅広い分野で活躍したマルチクリエイターです。代表作であるアンパンマン作品はもとより、30年間続けた雑誌『詩とメルヘン』の編集等を通じて、自身の“生きる”意味を問い続け生涯にわたり“現役”作家として前向きなメッセージを発信し続けました。今回の講演では、やなせたかし自身が苦境を乗り越え、晩年アンパンマン作品で成功を収めるまでの過程やそれを支えた自身の人生観、またそこから生み出された作品の数々をご紹介しますとともに、没後10年を経てなお、遺したやなせ作品が我々に与える“生きる希望”、その魅力についてご紹介します。

講師

公益財団法人やなせたかし記念
アンパンマンミュージアム振興財団
事務局長(学芸員)

仙波 美由記
せんば みゆき

講師プロフィール

愛媛県四国中央市出身。2003年、財団に学芸員として入職。やなせたかし作品の収集・保存・研究などを行い、香美市立やなせたかし記念館の展覧会事業に携わる。2012年より現職。事務局長として法人運営全般に従事しながら、日々やなせたかしの作品の普及、振興に努める。



講演
タイトル

アンパンマンの世界からみえる 『こころ』について

アンパンマンの生みの親は「やなせたかし」さん。これ程日常に浸透しているとは意識していませんでした。自宅には孫のジクソーパズルやスリッパ、ダイヤルボタンをプッシュすれば「僕アンパンマン」と発する電話機の玩具。高知駅では「アンパンマンのマーチ」の発車音、四国ではアンパンマン列車が行き来します。ごめんなはり線の各駅には、それぞれの駅名にちなんだオリジナルキャラクター。アンパンマンシリーズのキャラクター数はギネス記録になっていると聞いています。職場までにアンパンマンの路線バスにも遭遇します。大学病院の壁にもアンパンマンの仲間が登場します。それらを見ると心理カウンセリングにも少しゆとりが生まれます。いつのまにか私たちを元気づけているアンパンマンの世界、心理士の視点から見える「こころ」について当日はご紹介しましょう。

講師

高知県公立大学法人高知工科大学
共通教育教室 教授
健康管理センター長

池 雅之
いけ まさゆき

講師プロフィール

高知県公立大学法人高知工科大学共通教育教室 教授 心理学担当。臨床心理士・公認心理師。健康管理センター長 健康相談室 心理相談。高知県臨床心理士会会長。日本ピア・サポート学会副会長。日本臨床心理士会代議員。高知県スクールカウンセラースーパーバイザー。略歴など
1985年明治学院大学社会学部社会福祉学科 卒業。土佐病院、土佐清水病院で臨床心理士として勤務。大学、大学院、専門学校、短期大学、高等学校専攻科など非常勤講師を兼務し2015年1月より現職。
心理臨床学研究室では臨床心理学を基礎に、学生相談、心理面での健康管理、ピア・サポート活動への支援。教職課程での心理学、教育相談の教鞭、スクールカウンセラー育成など総合的な心理臨床を展開。
専門は臨床心理学、スクールカウンセリング、ピア・サポート、ひきこもり支援。
近著に『大学でのピア・サポート入門—始める・進める・深める—』（ほんの森出版、編著、2020年）